

第49回蘇峰会静岡県書道展

開催要項

本書道展は公益財団法人蘇峰会が徳富蘇峰先生の偉業を顕彰し、あわせて青少年の健全育成を図り、また書道の発展に寄与することを目的に毎年開催しています。徳富蘇峰先生は江戸末期の文久3年(1863)に熊本で生まれ、昭和32年(1957)に95歳でその生涯を終えるまで、明治・大正・昭和の3代にわたってジャーナリスト・歴史家として活躍されました。

その足跡をたどりますと、明治20年に「国民之友」を創刊、同23年には国民新聞社を創立、社長兼主筆として健筆を振るわれました。昭和18年には幾多の功績によって文化勲章を受章されました。

先生の全100巻からなる『近世日本国民史』は不朽の名著です。

先生は静岡県とも深い関わりを持たれており、熱海の晩晴草堂にて天寿を全うされました。その薰陶を受けた方々も多く、その人たちを中心に蘇峰会が結成され今日に至っています。



徳富蘇峰翁

- 主 催／公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送
駿府博物館
- 後 援／静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会
静岡県書道連盟
- 展覧会場／静岡市駿河区登呂3-1-1 駿府博物館
- 会 期／令和8年3月10日(火)～3月22日(日)
(前期：3/10(火)～15(日) 後期：3/17(火)～22(日))

〈応募要項〉

(1)応募資格

園児・小学生・中学生・高校生・大学生・一般で、県内に在住する方

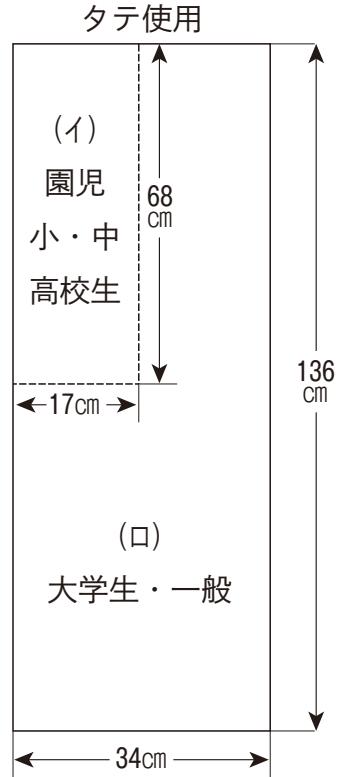
(2)応募規定 (規定外の作品は失格とします)

(イ) 園児・小・中・高校生の部

- ①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙の4分の1
(縦68cm×横17cm)
- ②語句は学年ごとの指定語句に限る
- ③作品の表に学年・氏名を記入してください
(園児及び小1・2年生は名前のみでも可)

(ロ) 一般・大学生の部

- ①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙(縦136cm×横34cm)
- ②表装・仮表装・裏打ちはしないで下さい
- ③語句は指定語句の中から自由に選んで下さい
- ④作品に氏名(号)、印を必ず入れて下さい
- ⑤作品の返却希望者は、出品票に『返却希望』と明記して下さい
“着払い”で返送します



(3)応募方法

(イ) 出品票の作成及び名札の貼付

- ①団体応募の場合は代表者が、個人応募の場合は本人が必ず出品票(別紙)を作成し、作品とともに提出して下さい
- ②別紙名札に氏名・住所・学校名・学年を記入し、作品裏の最下部に貼って下さい

(別紙名札参考／縦6cm 横12cm程度)

受付番号 ※未記入	
フリガナ	
氏名	
住所	〒
学校名	
学年	

- ③出品票及び名札は以下の蘇峰会のホームページからダウンロードできます
<http://www.sohoukai.com>

(ロ) 出品料及び支払い方法

- ①出 品 料／園児・小・中・高校生 300円
大学生・一般 600円

- ②支払方法／銀行振込・郵便小為替(無記名でお願いします)・現金書留に限り
ます

- ③振込先／静岡銀行 登呂支店 (普通) 0548378
公益財団法人 蘇峰会

(ハ) 募集受付期間と搬入方法

- ①受付期間／令和8年1月10日(土)～16日(金) ※当日消印有効
- ②搬入／出品作品の搬入は郵送または宅配便のみ受け付けます
(持参はご遠慮下さい)
- ③応募・問合せ先／〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-1
蘇峰会静岡県書道展事務局
☎054-284-9011 ※平日10:00～17:00

(4)審査及び入賞発表と表彰

- (イ) 審査／静岡県書道連盟に委嘱します
- (ロ) 入賞発表／令和8年2月上旬 静岡新聞朝刊紙上で発表します
(ただし、優秀賞は後日、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます)
- (ハ) 表彰式／令和8年3月15日(日) 静岡新聞放送会館18階「蘇峰ホール」
(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞社)

※表彰式への出席は、会場の都合により奨励賞以上の方に限らせていただきます

(ニ) 賞

徳富蘇峰賞	6点
静岡県知事賞	1点
静岡市長賞	1点
静岡県教育委員会教育長賞	3点
静岡市教育長賞	3点
蘇峰会賞	5点
静岡新聞社・静岡放送社長賞	5点
駿府博物館長賞	5点
静岡県書道連盟会長賞	5点
静岡県書道連盟賞	7点
審査委員会賞	7点
奨励賞	7点
優秀賞	全作品の10%相当

※出品者全員に参加賞をさしあげます

第49回蘇峰会静岡県書道展 「指定語句」

▽園児…………よいこ

▽小学生(楷書)

1年生…………あさひ
2年生…………ふるさと
3年生…………花がさく
4年生…………水の流れ
5年生…………光る大地
6年生…………四季の美

▽中学生(行書)

1年生…………清らかな川
2年生…………豊かな自然
3年生…………白雪の富士

(小・中学生指定語句は静岡教育出版社選定)

▽一般(書体自由)

①春の夜の夢の浮橋とだえして峰にわかるる横雲の空
(藤原定家)

②老松の嵐にすさぶこゑ聞けばしづむ心も蘇るおぼゆ
(徳富蘇峰)

③仙客來遊雲外嶺 神龍棲老洞中淵

雪如純素煙如柄

白扇倒懸東海天

(石川丈山/富士山)

【意味】仙人が来て遊ぶという神聖な富士の頂は、雲を突き抜けて高くそびえている。山頂の洞窟には龍がずっと棲みついているといわれている。山頂あたりは純白の雪に覆われ、ちょうど白絹を張つたようで、立ち昇る噴煙は、その扇の柄のよう見える。まるで東海の大空に白扇が逆さまにかかっているようだ。

▽高校生(書体自由)

雲外蒼天

【読み】うんがいそうてん

【意味】困難を乗り越えれば、その先に明るい未来が待つてゐる。

④初陽出海曙光賜
未必風情老來減 満目江山帶瑞霞

(徳富蘇峰/熱海偶成)

【意味】初日がいましも海を出て、あかつきの光が遠くさしている。見わたす限り、山も川も、めでたい霞をまとつて、さすがに元旦らしい。もともと風雅を愛する気持ちはかわりなく、老來少しも衰はせぬ。そこで新春第一にこの梅林を訪れた次第である。

(7)指定語句